

No	感染症(PT)	出典	概要
154	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc Natl Acad Sci USA 2007; 104: 1965-1970	スクレイピー22L株に感染した神経芽細胞腫細胞およびFUクロイツフェルトヤコブ病原体に感染した視床下部GT細胞は直交配列で高密度な25nmウイルス様粒子を示した。この粒子は膜に囲まれた不完全結晶で、A型レトロウイルス粒子クラスターや異常PrP原線維とは別に存在し、形態学的にも異なっていた。またPrP抗体でラベルされず、ホルボールエステル処理で増加しなかったことから、プリオンではなかった。この粒子は後期PrP脳病変を誘発するTSE原因プリオンである可能性がある。
155	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc R Soc B 2007; 274: 1497-1503	英国人消費者のBSE感染したヒツジ肉への理論的曝露を評価し、屠殺場での制御により達成されるリスク軽減を見積もる数学モデルを構築した。その結果、1頭の感染ヒツジが感染ウシ1頭に比べ10~1000倍の感染物質をもたらすと予測された。また、英国でBSE感染が続いているヒツジの群はわずか4群と95%の信頼度で推定した。組織検査に基づいた戦略、12ヶ月齢制限および危険部位の拡大よりも、6ヶ月齢制限および遺伝子型に基づいた戦略の方が感染リスク軽減に更に有効と考えられた。
156	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20070108.0081	血液および血液製剤によるCJD原因物質の伝播リスクの分析が更新された。2000年以来、フランスで発生すると予想されるvCJD症例数は低下しているが、リスク分析の最悪シナリオでは次の60年で300例となり、血液ドナー120000例中1例が感染しているという仮説を導き出す。結局、感染性のある血液ユニットを受けるリスクは120000分の1のレベルと考えられるが、適正に輸血が行われるならば、ベネフィットの方がリスクより大きい。
157	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20070305.0780	2007年2月21日、ポルトガル保健当局は同国で2例目のvCJD症例を発見したと発表した。若い女性が臨床検査により狂牛病であることが示された。1例目は2005年6月に発見された。その前年にEUは6年間のポルトガル牛肉輸出禁止措置を解除している。
158	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20070604.1812	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2007; published on line first 23 Mayに以下の論文が掲載されている。1970年以降の英国における孤発性CJDに関する系統的研究のデータを利用し、非典型的な症例を分析した。その結果、思春期の孤発性CJD2例が同定され、死亡年齢は16歳と20歳であった。1例はBSE流行の前の症例であり、2例目の特徴は、実験的伝播試験の結果も含めて、vCJDというよりもむしろ孤発性であるとの診断と一致した。孤発性CJDは非常に若い年齢で発症しうることが示された。
159	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20070806.2560	2007年7月の英国SEACのposition statementによると、従来のBSEに関連したPrP ^{Sc} とは異なる生化学的特徴を示すPrP ^{Sc} を持つ新たなBSE感染牛が世界各国のサーベイランスプログラムで検出されている。L型およびH型BSE感染牛は臨床症状を示さないが古典的BSE感染牛とは異なる症状を示す。原因は不明である。他の種への感染性は脳内投与により起こることは示されているが、経口投与での感染性は不明である。
160	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20070901.2879	2007年8月30日、CDC台湾は、国立Chengkung大学病院によって報告された患者がCJDか狂牛病かを決定するために更なる検査が必要であると発表した。この患者は海外渡航歴はなく、動物の内臓を食べることを好まなかったが、長年ウシの胎盤注射を受けていた。台湾では胎盤の化粧品は許可されているが、注射は許可されていない。CDC台湾によると、今までに胎盤注射により狂牛病に感染した症例はないとのことである。
161	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20080102.0014	英国で1995年にvCJD1例目が認定されて以来、英国では162例のvCJD確定または疑い死亡症例があるが、これらは全てプリオンを作る遺伝子のMM変異を有していた。しかし最近報告された39歳女性の死亡例はvCJDと似ているが、同遺伝子のVV変異型を有していた。今までに見られなかった新しい狂牛病の可能性もある。
162	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20080107.0087	英国National CJD Surveillance Unitに報告された2008年1月7日現在のCJD数は、vCJD診断確定死亡症例(確定例)114名、vCJD可能性死亡症例(神経病理学的確定診断がない)48名、vCJD可能性死亡症例(神経病理学的確定診断待ち)1名で、vCJD診断確定または可能性例の死亡総数163名であった。生存中のvCJD可能性症例数は3名であった。英国におけるvCJD流行は減少しつつあるという見解に一致する。
163	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	SEAC/Position Statement 2007年6月13日	英国保健省はSEACに歯科治療処置を介したvCJD伝播のリスク概算を目的とした初期研究の知見についての助言を求めた。初期研究では、歯科処置によるvCJD伝播のリスクが予想より高いことが示唆された。ガイダンスは今年初め歯髄治療用器具の使い捨てを勧告した。公衆衛生上の影響についてのより綿密な考察と、さらなるリスク減少手段の特定のため、全ての歯科治療のリスクについて詳細で包括的な評価を早急に行うことも重要である。
164	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfus Clin Biol 2006; 13: 312-316	vCJDが輸血により伝播するエビデンスがあるかを調べるために1997年に英国で試験が開始された。今までのところ本試験により、輸血によるvCJD伝播と思われる症例が3例特定された。2例は臨床症状を呈し、もう1例は臨床症状発現前の症例である。